



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月20日

上場会社名 株式会社 エンプラス 上場取引所 東
 コード番号 6961 URL http://www.enplas.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 星野 清孝 TEL 03-6268-0259
 グループフィナンシャルオフィス 本部長
 四半期報告書提出予定日 2018年8月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	8,019	△5.3	712	△45.5	919	△28.6	505	△49.6
2018年3月期第1四半期	8,464	11.0	1,307	35.5	1,288	57.6	1,003	34.4

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 684百万円 (△35.3%) 2018年3月期第1四半期 1,058百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	39.53	-
2018年3月期第1四半期	78.38	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	57,387	52,388	90.8	4,071.65
2018年3月期	57,118	52,258	91.0	4,062.72

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 52,097百万円 2018年3月期 51,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	40.00	-	40.00	80.00
2019年3月期	-	-	-	-	-
2019年3月期 (予想)	-	40.00	-	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	16,700	△2.6	1,500	△43.1	1,500	△41.0	1,000	△46.5	78.15
通期	34,000	2.1	3,300	△24.5	3,300	△14.2	2,300	△9.3	179.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	18,232,897株	2018年3月期	18,232,897株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	5,437,720株	2018年3月期	5,437,665株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	12,795,206株	2018年3月期1Q	12,796,932株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2018年7月20日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国において失業率が引き続き低水準となり、個人消費が堅調に推移しました。また、設備投資が好調となる中、6月には利上げが実施されました。中国では良好な外需に支えられ輸出が拡大する一方、インフラ投資の伸びは低下しました。新興国・地域においては米国金利上昇の影響を受けて資金流出が見られたものの、内需は総じて好調に推移しました。わが国経済はインバウンド需要が伸長し、また、設備投資にも持ち直しが見られ、企業の景況感には底堅さが見られました。一方で激しさを増す米中の貿易摩擦、欧州における政治不安の再燃や原油価格の上昇など、当社を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、更なる成長を目指すため、「Organic Growth」を今期の経営基本方針とし、グローバル競争の激化を始めとする環境の変化に迅速に対応することで企業価値の向上及び株主価値の最大化を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は8,019百万円（前年同期比5.3%減）となり、営業利益は712百万円（前年同期比45.5%減）、経常利益は919百万円（前年同期比28.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は505百万円（前年同期比49.6%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

「エンプラ事業」

自動車用部品は、米国における軟調な乗用車販売を受けて力強さを欠きました。プリンター用部品は国内主要顧客への販売が伸長し、また、非日系顧客からの受注にも底堅さが見られました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,568百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント営業利益は81百万円（前年同期比139.2%増）となりました。

「半導体機器事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、米国や中華圏における販売が引き続き堅調となる一方、国内においては主要顧客の生産調整の影響を受け、欧州における受注も減速傾向となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,126百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント営業利益は403百万円（前年同期比41.8%減）となりました。

「オプト事業」

光通信関連の光学デバイスは、良好な市場環境のもと販売が拡大しました。LED用拡散レンズは、ソリューション提案による拡販や新規顧客の開拓に注力しましたが、主要顧客におけるモデルチェンジの影響を受けて受注が落ち込みました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,324百万円（前年同期比33.2%減）、セグメント営業利益は227百万円（前年同期比60.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は57,387百万円となり、前連結会計年度末比268百万円の増加となりました。流動資産につきましては290百万円減少しました。主な変動要因は受取手形及び売掛金で218百万円、仕掛品で215百万円、原材料及び貯蔵品で98百万円増加したものの、その他で474百万円、現金及び預金で383百万円減少したことによるものです。固定資産につきましては558百万円増加しました。主な変動要因は投資その他の資産で767百万円増加し、無形固定資産で261百万円減少したことによるものです。

負債は4,998百万円となり、前連結会計年度末比で138百万円の増加となりました。流動負債につきましては202百万円減少しました。主な変動要因はその他で204百万円増加したものの、賞与引当金で232百万円、未払金で164百万円減少したことによるものです。固定負債につきましては340百万円増加しました。主な変動要因はその他で334百万円増加したことによるものです。

純資産は52,388百万円となり、前連結会計年度末比129百万円の増加となりました。主な変動要因は為替換算調整勘定で198百万円増加したものの、利益剰余金で54百万円減少したことによるものです。その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は90.8%となり、前連結会計年度末比で0.2ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年4月20日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,798	24,415
受取手形及び売掛金	6,835	7,054
有価証券	200	200
製品	915	927
仕掛品	548	764
原材料及び貯蔵品	1,510	1,608
未収還付法人税等	280	302
その他	1,391	917
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	36,470	36,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,191	3,174
機械装置及び運搬具（純額）	2,001	1,906
土地	6,783	6,791
その他（純額）	1,363	1,519
有形固定資産合計	13,339	13,392
無形固定資産		
ソフトウェア	367	342
のれん	1,919	1,725
その他	457	414
無形固定資産合計	2,744	2,482
投資その他の資産	4,564	5,331
固定資産合計	20,647	21,206
資産合計	57,118	57,387

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,271	1,321
未払金	936	772
未払法人税等	406	384
賞与引当金	554	321
役員賞与引当金	51	14
その他	798	1,002
流動負債合計	4,018	3,816
固定負債		
退職給付に係る負債	32	36
役員退職慰労引当金	15	—
訴訟損失引当金	469	488
その他	323	657
固定負債合計	841	1,182
負債合計	4,860	4,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	7,569	7,569
利益剰余金	49,736	49,681
自己株式	△13,997	△13,997
株主資本合計	51,389	51,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	447	418
為替換算調整勘定	146	344
その他の包括利益累計額合計	594	763
新株予約権	165	192
非支配株主持分	109	98
純資産合計	52,258	52,388
負債純資産合計	57,118	57,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	8,464	8,019
売上原価	4,332	4,423
売上総利益	4,132	3,596
販売費及び一般管理費	2,825	2,883
営業利益	1,307	712
営業外収益		
受取利息	12	27
受取配当金	9	9
スクラップ売却益	12	5
為替差益	—	231
その他	24	14
営業外収益合計	58	289
営業外費用		
固定資産賃貸費用	4	6
持分法による投資損失	44	65
為替差損	25	—
その他	4	10
営業外費用合計	77	82
経常利益	1,288	919
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	1	0
訴訟損失引当金繰入額	—	0
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	1,287	918
法人税、住民税及び事業税	225	333
法人税等調整額	49	67
法人税等合計	275	401
四半期純利益	1,012	517
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,003	505

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	1,012	517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△29
為替換算調整勘定	26	200
退職給付に係る調整額	△10	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△3
その他の包括利益合計	45	167
四半期包括利益	1,058	684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,050	674
非支配株主に係る四半期包括利益	7	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であったENPLAS LIFE TECH, INC. は同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更により、当第1四半期連結累計期間は、2018年4月1日から2018年6月30日までの3か月間を連結しております。

なお、当該連結子会社の2018年1月1日から2018年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。